

～第1回理数科シンポジウム～

4月20日(水)第1回理数科シンポジウムが行われました。これは、理数科の1年生から3年生までが集まり、下級生が課題研究や高校での生活について先輩からアドバイスしてもらうものです。1年生にとって参考になる話が聞けたと思います。また、2・3年次生にとっても有意義な、楽しい会になったようです。以下に主な感想を引用します。



シンポジウムアンケート 感想から

1年次生

- 研究と部活、勉強のバランスの取り方について、先輩と楽しくコミュニケーションを取ることができて良い経験になった。
- 課題研究への漠然なイメージしか抱いていなかったけど、先輩のテーマ決めの話や課題研究の進め方などを聞き、少し鮮明になったと思います。身近なこと、不思議なことをメモしていき、テーマをしっかり考え、選択肢の幅を広げていきたいと思いました。
- 研究することを決めて実際に取り組んでみて、自分に合わないなと思ったら変えてもいいことを知り、少し安心した。
- 今回のシンポジウムで先輩方の貴重な話を聞くことができました。まずは、課題提出をきちんとし、部活と課題研究をバランス良く行うことが重要だと聞きました。

2年次生

- 1年次生と関わることで、2年次生としての自覚が持てた。
- 1年次生に向けた言葉が2年次生の自分にも通じることがあり、ためになった。
- 日頃聞けない3年次生の意見や体験などいろいろ聞けたことがよかった。
- 課題研究を進めるに当たり、分担することや計画の重要性を実感した。
- 自分の失敗談を1年生に伝えることで、自分自身の中でも「あの失敗は無駄ではなかった」と整理をすることができた。

3年次生

- 苦労したことや理数科の良いところが伝えられて楽しかった。
- 学年の壁を越えて親睦を深めることができた。
- 3年次生は、もっと後輩と仲良くしたい。もっと話したい。
- 意外とみんな心配なことがあるんだなと思った。
- 他学年と交流ができて良かった。
- 生徒同士で、いい雰囲気話せる場としてとても貴重だと思った。
- 勉強のことを聞かれて、やり方を話すことで、自分のモチベーションも上がった。
- 他学年と交流する機会が少ないのでとてもためになったし楽しかった。
- 下級生に話すことで、自分の考えを整理することができた。
- 他学年の話聞いて、いままで気づかなかったことを知ることができて、良い機会だったと思う。
- 他の学年の意見を聞くことで、新しい発見があった。分からないことに対して、いくつも意見を聞くので、選択肢の幅が広がった。